

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2016年8月25日まで（2011年8月8日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	国際のe-コモディティ マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界各国のコモディティに係る上場投資信託証券等*および米国の国債 *「コモディティに係る上場投資信託証券等」とは、投資成果または償還価額等がコモディティ（商品）に関連する指標等に連動することを目的とする投資信託証券、受益証券発行信託および債券、であって金融商品取引所に上場されているものをいいます。
運用方法	・世界各国のコモディティに係る上場投資信託証券等に投資を行います。また、短期の米国国債に投資を行うこともあります。 ・「トレンド・フォロー戦略」による運用を行います。上昇トレンドのコモディティからのリターンの獲得を目指します。上昇トレンドのコモディティがない場合には、短期の米国国債による運用に切り替えます。 ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。	
主な組入制限	ベビーファンド	・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・上場投資信託証券等および米国の国債への実質投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の上場投資信託証券等への実質投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	マザーファンド	・上場投資信託証券等および米国の国債への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の上場投資信託証券等への投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎年8月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

〔満期償還〕

国際のe-コモディティ

信託終了日：2016年8月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「国際のe-コモディティ」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL: <http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

国際のeーコモディティのご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	1
◇運用経過	2
◇1万口当たりの費用明細	6
◇売買及び取引の状況	7
◇利害関係人との取引状況等	7
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	8
◇組入資産の明細	8
◇投資信託財産の構成	8
◇資産、負債、元本及び償還価額の状況	9
◇損益の状況	9
◇投資信託財産運用総括表	9
◇償還金のお知らせ	10
◇お知らせ	10

マザーファンドのご報告

◇国際のeーコモディティ マザーファンド	11
----------------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	%	百万円
2011年8月8日	10,000	—	—	—	—	—	—	100
1期(2012年8月27日)	8,786	0	△12.1	—	—	—	90.3	120
2期(2013年8月26日)	7,251	0	△17.5	—	—	—	93.2	158
3期(2014年8月25日)	6,110	0	△15.7	—	—	—	93.2	157
4期(2015年8月25日)	3,887	0	△36.4	—	—	—	90.1	164
(償還時)	(償還価額)							
5期(2016年8月25日)	3,543.97	—	△ 8.8	—	—	—	—	154

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	投 資 信 託 証 券 比 率
		騰 落	率			
(期 首)	円	%	%	%	%	%
2015年8月25日	3,887	—	—	—	—	90.1
8月末	3,874	△ 0.3	—	—	—	78.2
9月末	3,729	△ 4.1	—	—	—	94.7
10月末	3,811	△ 2.0	—	—	—	95.2
11月末	3,402	△12.5	—	—	—	94.8
12月末	3,249	△16.4	—	—	—	94.9
2016年1月末	3,109	△20.0	—	—	—	97.1
2月末	3,102	△20.2	—	—	—	94.8
3月末	3,267	△16.0	—	—	—	93.2
4月末	3,430	△11.8	—	—	—	94.5
5月末	3,446	△11.3	—	—	—	96.9
6月末	3,605	△ 7.3	—	—	—	91.3
7月末	3,521	△ 9.4	—	—	—	94.8
(償還時)	(償還価額)					
2016年8月25日	3,543.97	△ 8.8	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

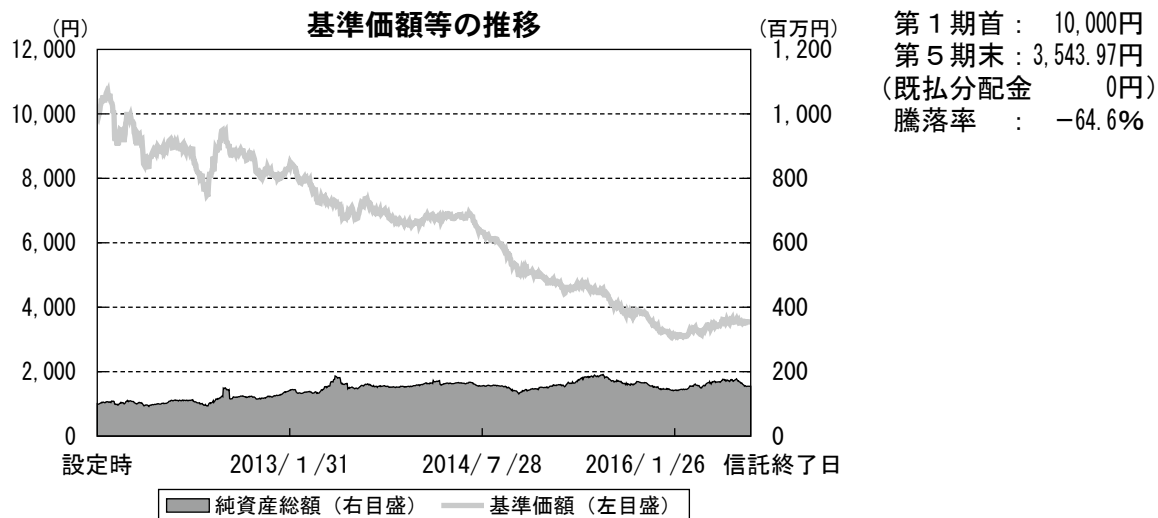
運用経過

設定来の基準価額等の推移について

(第1期～第5期：2011/8/8～2016/8/25)

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ64.6%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

- ・為替市場における米ドルの上昇、中国の景気減速、欧州の債務不安などをを受けて商品市況が軟調に推移したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第1期～第5期：2011/8/8～2016/8/25)

◎商品市況

<金属>

- ・金は、設定時から2015年末にかけては、欧州債務不安や米ドル高の進展、米国の量的金融緩和の縮小や中国の経済成長の鈍化などから下落しました。2016年1月から信託終了日にかけては、米ドルの下落や英国のEU離脱問題の懸念で安全資産としての需要が高まったことなどから堅調に推移しました。

<エネルギー>

- ・WTI原油は、設定時から2014年11月にかけては、中東の地政学的リスクの高まりや米国のシェールオイルの供給増など強弱材料が入り混じり、おおむね横ばい圏で推移しました。2014年11月のOPEC（石油輸出国機構）総会で減産が見送られ、需給環境が悪化すると原油価格は急落しました。

<農産物等>

- ・トウモロコシ、大豆、小麦等の主要穀物は設定時から2012年6月にかけてはおおむね横ばい圏で推移しました。2012年6月以降、米国の記録的な干ばつの影響で大きく上昇しました。2013年以降は天候の回復や在庫の増加などから下落傾向となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<国際のe-コモディティ>

- ・当ファンドは、国際のe-コモディティ マザーファンド受益証券の組入比率をおおむね95%以上に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。
- ・実質外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

<第1期：設定時～2012年8月27日>

- ・基準価額は設定時に比べ12.1%の下落となりました。

<第2期：2012年8月28日～2013年8月26日>

- ・基準価額は期首に比べ17.5%の下落となりました。

<第3期：2013年8月27日～2014年8月25日>

- ・基準価額は期首に比べ15.7%の下落となりました。

<第4期：2014年8月26日～2015年8月25日>

- ・基準価額は期首に比べ36.4%の下落となりました。

<第5期：2015年8月26日～信託終了日>

- ・償還価額は期首に比べ8.8%の下落となりました。

<国際のe-コモディティ マザーファンド>

- ・償還価額は設定時に比べ52.3%の下落となりました。
- ・世界各国のコモディティに係る上場投資信託証券等^{*1}を主要投資対象として「トレンド・フォロー戦略」のトレンド推計モデル^{*2}により、対象となるコモディティの価格トレンドを定期的に分析しその方向性を捉え、上昇トレンドと判定したコモディティに投資することによりリターンを獲得を目指しました。
- *1 「コモディティに係る上場投資信託証券等」とは、投資成果または償還価額等がコモディティ（商品）に関連する指標等に連動することを目的とする投資信託証券、受益証券発行信託および債券であって金融商品取引所に上場されているものをいいます。
- *2 トレンド推計モデルとは、時系列に散らばっているコモディティ価格の推移から短期的な変動を除去し、趨勢的な動きを抽出する手法をいいます。
- ・コモディティの価格トレンドの分析は原則4週間毎に行い、ポートフォリオの見直しを行いました。

◎ポートフォリオの状況

<第1期：設定時～2012年8月27日>

- ・基準価額は設定時に比べ9.8%の下落となりました。2011年8月の設定時のポートフォリオは金、銀、パラジウム、プラチナ、ガソリン、灯油、トウモロコシ、綿花の8銘柄で構成していましたが、その後欧州債務不安の再燃などの影響で金属や農産物等が下落したことがマイナスに作用しました。下落した金属のウエイトを引き下げ、期末では天然ガス、大豆、トウモロコシ、コーヒー、砂糖の5銘柄のポートフォリオとしました。

<第2期：2012年8月28日～2013年8月26日>

- ・基準価額は期首に比べ2.4%の上昇となりました。米国の歴史的な干ばつの影響で高値圏にあった農産物等が、天候不順の解消とともに下落したことがマイナスに作用しましたが、米ドルが対円で上昇したことがプラスに寄与しました。期末では金属のウエイトを引き上げてWTI原油、ガソリン、金、銀、プラチナ、大豆、綿花の7銘柄のポートフォリオとしました。

<第3期：2013年8月27日～2014年8月25日>

- ・基準価額は期首に比べ10.5%の下落となりました。記録的な豊作予想で農産物等が下落したことがマイナスに作用しました。下落した農産物等のウエイトを引き下げ、期末では天然ガス、WTI原油、ブレント原油、ガソリン、金、銀、銅、大豆の8銘柄のポートフォリオとしました。

<第4期：2014年8月26日～2015年8月25日>

- ・基準価額は期首に比べ27.3%の下落となりました。米国利上げ観測の高まりを嫌気して金属が下落幅を拡大したことがマイナスに作用しました。期末では天然ガス、ガソリン、トウモロコシ、小麦、大豆、綿花の6銘柄のポートフォリオとしました。

<第5期：2015年8月26日～信託終了日>

- ・償還価額は期首に比べ20.6%の下落となりました。暖冬の影響で天然ガスが急落したことがマイナスに作用しました。2016以降商品市況が上昇するにつれて組み入れ銘柄を追加し、7月末にWTI原油、ブレント原油、天然ガス、灯油、金、銀、プラチナ、パラジウム、銅、ニッケル、大豆、綿花、砂糖、コーヒーの14銘柄のポートフォリオとしました。その後、8月中旬にかけて全銘柄の売却を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

償還価額

＜国際のeーコモディティ＞
償還価額は、3,543円97銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年8月26日～2016年8月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	39円	1.118%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(19)	(0.540)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(19)	(0.540)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.038)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	47	1.345	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投資信託証券)	(47)	(1.345)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	11	0.324	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0.300)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(0)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.014)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	97	2.788	
期中の平均基準価額は、3,462円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年8月26日～2016年8月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国際のeーコモディティ マザーファンド	千口 237,863	千円 119,456	千口 498,856	千円 242,792

○利害関係人との取引状況等

(2015年8月26日～2016年8月25日)

利害関係人との取引状況

<国際のeーコモディティ>

区 分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %		百万円	$\frac{D}{C}$ %
為替先物取引	1,662	1,358	81.7	1,538	1,395	90.7

<国際のeーコモディティ マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %		百万円	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	50	26	52.0	166	5	3.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高（元本）	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

○組入資産の明細

（2016年8月25日現在）

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首（前期末）	
		口	数
国際のeーコモディティ マザーファンド			千口 260,993

○投資信託財産の構成

（2016年8月25日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 155,500	% 100.0
投資信託財産総額	155,500	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2016年8月25日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	155,500,807
コール・ローン等	155,500,807
(B) 負債	949,322
未払解約金	32,438
未払信託報酬	907,949
未払利息	228
その他未払費用	8,707
(C) 純資産総額(A－B)	154,551,485
元本	436,096,529
償還差損金	△281,545,044
(D) 受益権総口数	436,096,529口
1万口当たり償還価額(C／D)	3,543円97銭

<注記事項>

- ①期首元本額 423,202,502円
 期中追加設定元本額 192,377,288円
 期中一部解約元本額 179,483,261円
 また、1口当たり純資産額は、償還時0.354397円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は281,545,044円です。

○損益の状況（2015年8月26日～2016年8月25日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1
受取利息	1,170
支払利息	△ 1,169
(B) 有価証券売買損益	△ 5,977,567
売買益	32,911,578
売買損	△ 38,889,145
(C) 信託報酬等	△ 1,801,556
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 7,779,122
(E) 前期繰越損益金	△ 63,285,436
(F) 追加信託差損益金	△210,480,486
(配当等相当額)	(2,295)
(売買損益相当額)	(△210,482,781)
償還差損金(D＋E＋F)	△281,545,044

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信 託 期 間	投資信託契約締結日	2011年8月8日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年8月25日		資 産 総 額	155,500,807円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	949,322円
				純 資 産 総 額	154,551,485円
受 益 権 口 数	100,000,000口	436,096,529口	336,096,529口	受 益 権 口 数	436,096,529口
元 本 額	100,000,000円	436,096,529円	336,096,529円	1万口当たり償還金	3,543円97銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第1期	137,368,096円	120,690,629円	8,786円	0円	0.0000%
第2期	218,214,574	158,222,995	7,251	0	0.0000
第3期	257,956,656	157,604,958	6,110	0	0.0000
第4期	423,202,502	164,508,423	3,887	0	0.0000

○償還金のお知らせ

1 万円当たり償還金(税込み)	3,543円97銭
-----------------	-----------

- ◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆課税上の取り扱い
 - ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
 - ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。
※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お 知 ら せ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

国際のe-コモディティ マザーファンド

《繰上償還（第10期）》信託終了日2016年8月24日

[計算期間：2016年2月26日～2016年8月24日]

「国際のe-コモディティ マザーファンド」は、この度、約款の規定に基づき、
8月24日に繰り上げて償還させていただきました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	世界各国のコモディティに係る上場投資信託証券等*および米国の国債 *「コモディティに係る上場投資信託証券等」とは、投資成果または償還価額等がコモディティ（商品）に関連する指標等に連動することを目的とする投資信託証券、受益証券発行信託および債券であって金融商品取引所に上場されているものをいいます。
主 な 組 入 制 限	・上場投資信託証券等および米国の国債への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の上場投資信託証券等への投資割合は、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 比 率	純 資 産 総 額
	円	騰 落 中 率				
6 期 (2014年 8 月 25 日)	8,267	△ 9.4	—	—	95.4	153
7 期 (2015年 2 月 25 日)	7,344	△ 11.2	—	—	94.9	154
8 期 (2015年 8 月 25 日)	6,007	△ 18.2	—	—	94.5	156
9 期 (2016年 2 月 25 日)	4,576	△ 23.8	—	—	95.9	142
(償還時) 10期 (2016年 8 月 24 日)	(償還価額) 4,768.21	4.2	—	—	—	150

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

※当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 証 資 券	信 託 比	託 率
		騰 落 率							
(期 首) 2016年 2 月25日	円	%		%		%			%
	4,576	—		—		—			95.9
2 月末	4,615	0.9		—		—			96.7
3 月末	4,841	5.8		—		—			95.6
4 月末	4,973	8.7		—		—			98.2
5 月末	5,062	10.6		—		—			98.2
6 月末	4,949	8.2		—		—			95.6
7 月末	4,899	7.1		—		—			97.5
(償還時) 2016年 8 月24日	(償還価額) 4,768.21	4.2		—		—			—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第10期：2016/2/26～2016/8/24)

基準価額の動き

償還価額は期首に比べ4.2%の上昇となりました。

基準価額の推移



基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 米国やカナダ、クウェートで原油の生産が減少したことなどから商品市況が堅調に推移したことが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

(第10期：2016/2/26～2016/8/24)

◎商品市況

<金属>

- ・金は、米ドルの下落や英国のEU離脱問題の懸念などから堅調に推移しました。
- ・パラジウムは、中国で自動車の汚染防止装置用の需要が拡大するとの観測から大幅に上昇しました。

<エネルギー>

- ・原油は、米国産原油の生産減少や、クウェートやカナダ、リビア等で次々に生産障害が発生したことなどから上昇しました。
- ・天然ガスは、記録的な熱波が発生した米国で冷房需要が増加したことなどからおおむね上昇しました。

<農産物等>

- ・トウモロコシや小麦は、米国産地が生育に適した天候となったことなどから下落しました。
- ・大豆は、大豆ミールが急騰した影響を受けて堅調となりました。

◎為替市況

- ・米国の利上げ期待の後退や英国のEU離脱問題の懸念などから米ドル安／円高となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・世界各国のコモディティに係る上場投資信託証券等*¹を主要投資対象として「トレンド・フォロー戦略」のトレンド推計モデル*²により、対象となるコモディティの価格トレンドを定期的に分析しその方向性を捉え、上昇トレンドと判定したコモディティに投資することによりリターンを獲得を目指しました。

* 1 「コモディティに係る上場投資信託証券等」とは、投資成果または償還価額等がコモディティ（商品）に関連する指標等に連動することを目的とする投資信託証券、受益証券発行信託および債券であって金融商品取引所に上場されているものをいいます。

* 2 トrend推計モデルとは、時系列に散らばっているコモディティ価格の推移から短期的な変動を除去し、趨勢的な動きを抽出する手法をいいます。

- ・コモディティの価格トレンドの分析は原則4週間毎に行い、ポートフォリオの見直しを行いました。

◎ポートフォリオの状況

- ・償還価額は期首に比べ4.2%の上昇となりました。
- ・米国の利上げ期待の後退や英国のEU離脱問題の懸念などから米ドル安／円高となったことがマイナスに作用したものの、米国やカナダ、クウェートで原油の生産が減少したことなどが商品市況が堅調に推移したことがプラスに寄与しました。
- ・期首のポートフォリオは灯油、金、銀、プラチナ、パラジウム、銅、トウモロコシ、砂糖の8銘柄で構成していました。その後、商品市場が上昇するにつれて組み入れ銘柄を追加し、7月末にWTI原油、ブレント原油、天然ガス、灯油、金、銀、プラチナ、パラジウム、銅、ニッケル、大豆、綿花、砂糖、コーヒーの14銘柄のポートフォリオとしました。8月中旬にかけて全銘柄の売却を行いました。

償還価額

償還価額は、4,768円21銭となりました。

○1万口当たりの費用明細

(2016年2月26日～2016年8月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	18	0.377	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投資信託証券)	(18)	(0.377)	
(b) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c) そ の 他 費 用	10	0.205	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0.198)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(その他)	(0)	(0.007)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	28	0.583	
期中の平均基準価額は、4,889円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年2月26日～2016年8月24日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	SPDR GOLD SHARES	0.1	12	1	175
	ISHARES SILVER TRUST	0.63	11	11	186
	ETFS BRENT CRUDE	5	117	5	128
	ETFS COFFEE	77	107	77	113
	ETFS COPPER	1	27	8	187
	ETFS CORN	89	100	227	234
	ETFS COTTON	48	93	48	106
	ETFS WTI CRUDE OIL	16	121	16	127
	ETFS HEATING OIL	2	25	23	212
	ETFS NATURAL GAS	2,458	98	2,458	110
	ETFS NICKEL	10	98	10	112
	ETFS PHYSICAL PALLADIUM	0.29	16	3	205
	ETFS PHYSICAL PLATINUM	0.21	20	1	191
	ETFS SOYBEANS	5	117	5	127
	ETFS SUGAR	1	18	17	213
	ETFS GASOLINE	4	101	4	89
	ETFS WHEAT	99	91	99	82
小 計		2,823	1,179	3,022	2,606

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年2月26日～2016年8月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 23	百万円 6	% 26.1	百万円 166	百万円 5	% 3.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年8月24日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

外国投資信託証券

銘	柄	期首（前期末）	
		口	数
(アメリカ)			千口
SPDR GOLD SHARES			1
ISHARES SILVER TRUST			10
ETFS COPPER			7
ETFS CORN			137
ETFS HEATING OIL			20
ETFS PHYSICAL PALLADIUM			3
ETFS PHYSICAL PLATINUM			1
ETFS SUGAR			16
合 計		口 銘	数 柄
		金 額	・ 数 < 比 率 >
		198	8

○投資信託財産の構成

(2016年8月24日現在)

項 目	債 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 150,731	% 100.0
投資信託財産総額	150,731	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年8月24日現在)

項 目	債 還 時
	円
(A) 資産	150,731,484
コール・ローン等	150,731,484
(B) 負債	216
未払利息	216
(C) 純資産総額(A－B)	150,731,268
元本	316,117,004
償還差損金	△165,385,736
(D) 受益権総口数	316,117,004口
1万口当たり償還価額(C／D)	4,768円21銭

<注記事項>

- ①期首元本額 310,746,278円
期中追加設定元本額 127,715,481円
期中一部解約元本額 122,344,755円
また、1口当たり純資産額は、償還時0.476821円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は165,385,736円です。

- ③償還時における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
国際のeーコモディティ 316,117,004円

当ファンドは、投資信託約款に規定する「この信託の受益証券と投資対象とすることを信託約款において定めるすべての証券投資信託がその信託を終了させることとなる場合」に該当するものとして、投資信託契約を解約し、2016年8月24日に信託を終了しました。

○損益の状況 (2016年2月26日～2016年8月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,158
受取利息	252
支払利息	△ 2,410
(B) 有価証券売買損益	6,695,316
売買益	26,915,238
売買損	△ 20,219,922
(C) 保管費用等	△ 323,198
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,369,960
(E) 前期繰越損益金	△168,559,963
(F) 追加信託差損益金	△ 65,670,848
(G) 解約差損益金	62,475,115
償還差損金(D+E+F+G)	△165,385,736

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。